

6. 快適な生活 ①自然と生活の環境保全

評価者	環境生活部 谷川 英次		
令和4年度 実行宣言			
<p>2050年カーボンニュートラル実現に向け、まずは2030年温室効果ガス46%削減をめざした基本方針を示すとともに、地域脱炭素ロードマップに示された重点施策である、公共施設の自家消費型の屋根置き太陽光発電設備設置に向けた取組を行い、再生可能エネルギーの導入の推進を図ります。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>令和5年2月15日におこなったゼロカーボンシティ宣言を受けて、松阪市ゼロカーボンビジョンを公表し、ビジョンの中で松阪市のカーボンニュートラルに対する方向性を示しました。また、公共施設への太陽光発電設備及び蓄電池の導入の取組を行いました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>松阪市ゼロカーボンビジョンに示した目標達成に向け、公共施設の太陽光発電設備の導入、公共施設のLED化の取組を推進します。</p>			

評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志		
令和4年度 実行宣言			
<p>令和3年度に引き続き、農業集落排水事業、公共浄化槽等整備推進事業について、令和5年度の企業会計化に向けて作業を進めていきます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆	
<p>農業集落排水事業、公共浄化槽等整備推進事業ともに、ロードマップに基づき企業会計化に向けて作業(固定資産台帳整備、条例、規定等の制定・改定、新年度予算編成等)を進め、この2つの事業の会計と公共下水道事業会計の3つの事業会計を統合した下水道事業として移行を完了することができた結果、市民に対し、経営状況が分かりやすくなるという効果をもたらしました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>公共用水域の水質保全を図るため、生活排水施設の適切な維持管理を行うとともに、広報等を活用した生活排水に関する啓発を行い、生活排水処理施設の整備を進めていきます。                  農業集落排水処理施設使用料、公共浄化槽使用料においては、公共下水道使用料同様に水道料金と合算した2か月に1回の請求方法に変更し、納付方法についてコンビニ納付、クレジット納付ができるよう、使用者の利便性の向上を図ります。</p>			

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	1人1日当たりエネルギー消費量(電気)を4年間、基準値以下に維持する。				目標種別	→
	評価者	環境生活部 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	7.25kwh以下	7.25kwh以下	7.25kwh以下	7.25kwh以下	
	実績	7.17kwh	7.43kwh	7.49kwh	未公表	—	
	評価	—	E	E		—	
	今後の方針	2050年カーボンニュートラル実現にむけ、更なる省エネ、節電に対する啓発活動を実施します。					
数値目標 ②	項目	生活排水処理施設整備率				目標種別	↑
	評価者	環境生活部 谷川 英次 上下水道事業管理者 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	89.1 %	90.4 %	91.7 %	93.0 %	
	実績	88.7 %	91.1 %	91.7 %	91.8 %	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	引き続き、浄化槽設置補助金制度等の活用により、生活排水処理施設の向上に努めていきます。					
関係所属							
環境課、上下水道部							

6. 快適な生活 ②資源循環型社会の推進

評価者	清掃行政担当理事 小林 努		
令和4年度 実行宣言			
<p>家庭から出るごみを安全・迅速に、かつ衛生的に回収し各施設で適切な処理を行います。また、市民ニーズを意識してごみ処理の効率化や新しいサービスを検討します。ごみ減量・3R等の啓発については、新型コロナウイルス感染症を意識した効率的な出前講座等に取り組んでいきます。新最終処分場については引き続き整備を進めていきます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆	
<p>職員の労働安全衛生の徹底や各施設の機械設備等の安全な運転維持に努めることで、家庭から出るごみを各施設で適切に処理をすることができました。また、松ヶ崎公園グラウンドの申し込み窓口は、他のスポーツ施設と同様にスポーツ課に統一することで、市民の利便性の向上を図りました。ごみ減量・3R等の啓発では、コロナウイルス感染症予防や熱中症対策に配慮し、各施設を紹介したDVDの作成や出前講座の動画配信等を実施し、参加者の健康管理面を意識した取組ができました。新最終処分場施設整備に係る整備計画用地の取得については、全体面積の93.81%を購入しましたが、すべての用地取得には至りませんでした。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>家庭から出るごみを安全・迅速に、かつ衛生的に収集し、各施設にて適切な処理をしていきます。また、社会情勢やごみに対する市民ニーズの変化をとらえ、ごみの収集体制の強化や、不法投棄・ごみ持ち去り防止の監視体制の充実や啓発の推進等新規のサービスを実施していきます。加えて、ごみ減量・3R推進の啓発とともに、松阪市ゼロカーボンビジョンと連動し、家庭系ごみ削減の取組の強化と、食品ロス削減について事業所との連携体制の構築や、子ども向け教材の作成などを検討していきます。</p> <p>リサイクルセンターについては、敷地内の資源棟等の老朽化が進んでおり、施設の在り方に向けた検討をしていきます。</p> <p>新最終処分場施設整備に係る整備計画用地の取得については、令和5年度末までにすべての用地を取得できるよう取り組みます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	家庭系ごみ(集団回収を含む)1人1日当たりのごみ排出量				目標種別	↓
	評価者	清掃行政担当理事 小林 努					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	710 g	701 g	693 g	684 g	
	実績	719 g	734 g	718 g	702 g	—	
	評価	—	E	E	C	—	
今後の方針	生ごみの水切りに係る啓発や食品ロス削減の取組を強化します。						
数値目標 ②	項目	廃棄物(ごみ)対策の整備に満足している人の割合				目標種別	↑
	評価者	清掃行政担当理事 小林 努					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	25.0 %	26.0 %	27.0 %	28.0 %	
	実績	22.7 %	— %	22.8 %	23.6 %	—	
	評価	—	—	E	E	—	
今後の方針	社会情勢や市民ニーズの変化をとらえ、サービス向上のための新たな施策を検討します。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	資源化率（総ごみ量のうち総資源化量の占める割合）				目標種別	↑
	評価者	清掃行政担当理事 小林 努					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	10.7 %	11.5 %	12.3 %	13.1 %	
	実績	10.7 %	10.5 %	10.1 %	9.9 %	—	
	評価	—	E	E	E	—	
今後の方針	ごみの分別や出し方の効果的な周知・啓発と集団回収活動の活性化につながる取組を検討します。						

関係所属
清掃事業課、清掃施設課、建設保全課

6. 快適な生活 ③地域公共交通の充実

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和4年度 実行宣言			
<p>地域住民との対話を重視し飯高管内の公共交通の再編を円滑に進めることで、超高齢社会における交通弱者のニーズに対応したコミュニティ交通のあり方を見据えた「松阪市地域公共交通計画」の策定に取り組みます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>飯高管内の公共交通再編と松阪市地域公共交通計画につきましては、地域住民との対話や運行事業者、学識経験者等との協議を進める中、大まかな方向性は固まったものの詳細な部分の調整に時間を要し、令和4年度中の策定ができませんでした。これは、新型コロナウイルス感染症拡大により飯高管内のワークショップの開催が令和4年2月から令和4年6月に延期になったことの影響を、スケジュール的にカバーすることができなかったことによるものです。現在、令和5年度の早い時期での策定をめざして関係者と協議を継続しているところです。</p> <p>また、「住民1人あたり公共交通機関年間利用回数」「住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、それぞれ目標に達していませんが、令和4年度新規事業として2日間実施した「路線バス運賃無料デー」では、落ち込んでいる利用者数の回復とともに乗車体験による利用促進や公共交通に慣れ親しんでいただくことをめざしました。その結果平日は1.6倍、日曜日は2.8倍の乗車人数があり想定以上のバス乗車機会を創出することができ、また、今後の利用者促進に向けてのデータ収集にもなりました。全体としては多くの指標が目標値を達成していないので星2つの評価としました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>飯高管内の公共交通再編は地域住民、関係者、関係機関と協議や連携を行い、令和6年度運行開始ができるよう取り組みます。また、地域住民との対話などによりコミュニティ交通の適正利用を推進するとともに、路線バス運賃無料デーを実施しバスに乗車する機会を創出し利用促進に取り組みます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	鉄道、路線バスとコミュニティバスの結節点数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	22 か所	23 か所	24 か所	25 か所	
	実績	21 か所	24 か所	24 か所	24 か所	—	
	評価	—	S	S	S	—	
今後の方針	既存の路線バスと地域の特性や実情に合わせた運行形態のコミュニティ交通を接続し、飯高管内の公共交通再編に取り組みます。						
数値目標 ②	項目	住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2 地域	2 地域	2 地域	3 地域	
	実績	1 地域	1 地域	1 地域	1 地域	—	
	評価	—	E	E	E	—	
今後の方針	路線バス等が運行されていない地域で、地域住民が主体となって運営するコミュニティ交通を引き続き支援していきます。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	住民1人あたり公共交通機関年間利用回数				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	8.00 回	8.00 回	8.00 回	8.00 回	
	実績	7.95 回	6.23 回	6.56 回	6.99 回	—	
	評価	—	E	E	E	—	
	今後の方針	公共交通に慣れ親しんでもらい、利用することの大切さを理解していただくため、路線バス運賃無料デーを実施します。					

関係所属
商工政策課

6. 快適な生活 ④都市空間・住環境の整備

評価者	建設部長 松本 尚久		
令和4年度 実行宣言			
<p>都市空間の整備は、松阪駅西複合施設建設に向けた事業者ヒアリングから1次事業者募集へと進め、松阪駅西地区構想を推進します。公園緑地の整備については、中部台運動公園、松ヶ崎公園など他部局管理の都市公園についても、土木課管理の都市公園として、芝生やグラウンドなど屋外施設の一括管理する方法を関係課と調整し、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>住環境の整備は、危険な特定空家化の減少、中心市街地の空家の利活用の充実、近鉄伊勢中川駅近郊における一般住宅建築可能な区域の創出により、市民満足度の向上に努めます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>都市空間の整備については、社会情勢の変化から松阪駅西地区複合施設計画の事業者募集の時期の見直しを行いました。公園の整備については、コロナ禍による施設の制限などがあり、公園整備の市民満足度の評価は低評価となりました。</p> <p>住環境の整備では、空家対策において、222件の相談があり、適正な管理の依頼や利活用、除却制度の情報提供を行いました。一方で、中心市街地の空家に対する補助金等においては、申請が低調となり、今後、より一層のPRが必要です。市営住宅については、着実に老朽化住宅からの住み替えがありましたが、住環境の整備に対する市民満足度は低評価となりました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>都市空間の整備は、公園整備において維持管理の時代を迎えるにあたり、管理者の異なる公園の一括管理について調整し、効率の良い管理をめざします。松阪駅西地区複合施設計画については、社会情勢に注視し再開の時期を探っていきます。</p> <p>住環境の整備は、新しい景観計画に基づき、重点地区の景観形成を図ります。また、空家対策においては、中心市街地の空家対策において一層の周知を行い、補助金の活用を促進します。市街化の見直しや既存集落の維持については、市民のニーズに沿った方法を検討し、市民満足度の向上に努めます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	住環境の整備に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	3.20 /5	3.24 /5	3.27 /5	3.30 /5	
	実績	3.17 /5	— /5	3.17 /5	3.13 /5	—	
	評価	—	—	E	E	—	
	今後の方針	新しい景観計画に基づく良好な景観形成を推進するとともに、空家等対策の充実を図ります。					
数値目標 ②	項目	公園・緑地の整備に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	3.12 /5	3.15 /5	3.18 /5	3.20 /5	
	実績	3.10 /5	— /5	3.12 /5	3.05 /5	—	
	評価	—	—	D	E	—	
	今後の方針	総合運動公園の建設が終わり、これからの維持管理の時代に対応するため、公園施設長寿命化計画を策定しLCCの低減に努めます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	「住めない空家(C判定)※」として判定された空家等数(累計) ※H30年実施 空家等実態調査における判定基準				目標種別	↓
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	平成30年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	720 件	700 件	680 件	660 件	
	実績	758 件	668 件	611 件	590 件	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	第2次空家対策計画に基づき、特定空家の指定を進め、危険な特定空家については代執行の検討をします。					
数値目標 ④	項目	老朽化住宅からの住替え件数(累計)				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	50 戸	58 戸	70 戸	83 戸	
	実績	39 戸	58 戸	67 戸	72 戸	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	引き続き入居者入居者ニーズに即した住み替え先の提案など、親身な交渉を行いながら、計画的な住み替えを進めます。					

関係所属	
土木課、住宅課、都市計画課、建築開発課	

6. 快適な生活 ⑤道路等の整備

評価者	建設部長 松本 尚久		
令和4年度 実行宣言			
<p>橋りょう点検は、引き続き直営点検により効率化を図るとともに、道路改良事業の用地交渉が難航している事業地区については、粘り強く交渉を行い土地所有者の理解を求め、計画どおりの事業完了に努めます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>橋梁の長寿命化事業では、引き続き市職員による直営点検により点検経費を削減し効率化を図りました。道路の整備については、おおむね計画どおり進捗しましたが、地方創生道では全体事業費の増額見直しから事業進捗率の低下がありました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>計画的な道路の整備と、狭あい道路など生活道路については、道路改良と支援制度の両面から整備を進めていきます。また、道路照明灯のLED化に取り組み、安全性を高め快適な道路環境を提供します。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	指標	主要な認定市道のパトロールに基づいた路面補修率				目標種別	→
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	100%	100%	100%	100%	
	実績	—	100%	100%	100%	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	引き続き、直営の巡回パトロールにより迅速な路面補修に努めます。					
数値目標 ②	指標	道路の整備に対する市民満足度				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	2.78 /5	2.82 /5	2.86 /5	2.90 /5	
	実績	2.74 /5	— /5	2.81 /5	2.77 /5	—	
	評価	—	—	B	E	—	
	今後の方針	緊急性や必要性などを総合的に判断し、地域の要望に応じていきます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	指標名	橋りょう点検に基づき修繕を行う橋りょう数(累計)				目標種別	↑
	評価者	建設部長 松本 尚久					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	28 橋	48 橋	73 橋	98 橋	
	実績	10 橋	23 橋	49 橋	65 橋	—	
	評価	—	B	S	B	—	
	今後の方針	修繕が必要な98橋について、着実に対策を進め長寿命化を図ります。					

関係所属
建設総務課、土木課、建設保全課、建築開発課

6. 快適な生活 ⑥上下水道の整備

評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志		
令和4年度 実行宣言			
<p>令和4年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。</p> <p>水道事業建設改良工事では、安全・安心な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設を更新します。</p> <p>下水道整備においては、下水道未普及地域を解消するための整備のほか大型団地の公共下水道への接続に向け、効率的な整備を進めていきます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>水道事業については、経常収支比率(106.3%)、営業収支比率(101.4%)でともに100%以上、料金収納率においても99.7%(3月末時点)となり、基幹管路の耐震化については平成3年度末の耐震適合率37.9%を令和4年度末では0.6ポイント増の38.5%、300mの整備目標であった老朽管の更新については895mの整備を行った結果、給水区域の市民に対し、安全、安心で良質な水の供給という効果をもたらしました。</p> <p>公共下水道の整備については繰越工事が多く発生し目標とする下水道普及率63.2%を2.1ポイント下回る61.1%となりましたが、整備を進めた結果、下水道の整備された地域の市民に対し、水洗トイレが使えるだけでなく、周辺的生活環境も改善されるという効果をもたらしました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>令和5年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。</p> <p>水道事業建設改良工事においても、引き続き安全・安心な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設を更新します。</p> <p>下水道整備においては、平成28年度に策定した「松阪市公共下水道事業経営戦略」の見直しを図り、その中で整備区域の検討、公共下水道使用料の改定の必要性に関する検証を行っていきます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	水源の水質事故件数				目標種別	→
	評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	0件	0件	0件	0件	
	実績	0件	0件	0件	0件	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	引き続き、水源の水質事故件数0件に努めます。					
数値目標 ②	項目	基幹管路の耐震適合率				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	37.5 %	37.9 %	38.1 %	38.2 %	
	実績	37.2 %	37.6 %	37.9 %	38.5 %	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	引き続き、「松阪市水道事業ビジョン」に基づき、基幹管路の耐震化を進めていきます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	下水道普及率				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	60.8 %	62.5 %	63.2 %	67.1 %	
	実績	58.2 %	59.1 %	60.4 %	61.1 %	—	
	評価	—	D	C	C	—	
今後の方針	見直し後の経営戦略に基づき、効率的な整備を進めていきます。						
数値目標 ④	項目	水洗化率				目標種別	↑
	評価者	上下水道事業管理者 前崎 高志					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	79.5 %	80.1 %	80.7 %	81.1 %	
	実績	79.4 %	79.6 %	79.5 %	79.3 %	—	
	評価	—	S	E	E	—	
今後の方針	引き続き、水洗化啓発や水洗化補助金等の制度の活用により、水洗化率の向上に努めていきます。						

関係所属	
環境課、上下水道部	